

東海大学大学院 2017年度 家族看護研究会



家族看護学研究室では家族看護を様々な理論やツールを用いて分析

今回は、渡辺式家族アセスメントモデルを使って

事例分析します。

事例紹介

膵臓がん終末期闘病中に急性心筋梗塞で運ばれた患者。
延命を希望する家族と最期を覚悟した本人。
交錯する両者の思いに看護師はどう関わればよかったのか。

プロフィール: 櫻井 大輔(家族支援専門看護師)
国際医療福祉大学卒業後、県立足柄上病院に入職。
東海大学大学院で家族看護学専攻し、家族支援専門看護師となり
現場で活躍中。現在、各地で家族看護教育普及につとめている。

2017年7月29日 土曜日

13:00~16:00

場所: 大学伊勢原キャンパス 3号館1階会議室

アクセス: 小田急小田原線「伊勢原駅」下車徒歩20分

バス10分(東海大学病院下車)

問合せ先: 0463-93-1121(代表) 担当; 井上

研究会ホームページ: <http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス: kazoku@tokai-u.jp

